

〔別 紙〕

様式 1

00159

事業報告書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人〇〇会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 名古屋市北区大曾根三丁目 14 番 20 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 (昭和)・平成・令和 51 年 6 月 25 日

(4) 設立登記年月日 (昭和)・平成・令和 51 年 6 月 28 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	眼科三宅病院	名古屋市北区大曾根 三丁目14番20号	一般病床 48床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設			入所定員 名 通所定員 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3年5月31日	社員総会	理事選任、退職慰労金、役員報酬総額の件
令和3年6月1日	理事会	理事長選任、役員報酬の件
令和3年6月30日	臨時社員総会	令和3年3月期決算承認の件
令和3年7月15日	理事会	利益相反取引（不動産購入）承認の件
令和4年3月4日	臨時社員総会	社員からの出資持分払戻請求、出資持分の払戻価額、 出資持分の件
令和4年3月4日	臨時理事会	出資金払戻契約の承認、出資金減資の件

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

法人名 医療法人 湘山会
所在地 愛知県名古屋市北区大曾根三丁目14番20号

※医療法人整理番号 00159

貸 借 対 照 表
(令 和 4 年 3 月 3 1 日 現 在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金 及 び 預 金	2,144,718	買 掛 金	24,851
事 業 未 収 金	436,655	未 払 金	82,796
た な 卸 資 産	21,747	預 り 金	135,757
立 替 金	3,834	仮 受 金	0
仮 払 金		未 払 法 人 税 等	0
預 託 金	88	未 払 消 費 税 等	2,497
前 払 費 用	5,430	引 当 金	2,613
預 け 金	2,825		
II 固 定 資 産			
1. 有 形 固 定 資 産			
建 物	103,028	負 債 合 計	248,516
建 物 付 属 設 備	40,138		
構 築 物	2,067	純 資 産 の 部	
医 療 用 器 械 備 品	134,606	科 目	金 額
そ の 他 の 器 械 備 品	68,584	I 出 資 金	22,960
車 両 運 搬 具	16,391	II 積 立 金	
土 地	1,592,922	利 益 準 備 金	50,000
建 設 仮 勘 定	16,785	積 立 金	4,710,000
2. 無 形 固 定 資 産		繰 越 利 益 剰 余 金	1,488,227
ソ フ ト ウ ェ ア	29,199		
電 話 加 入 権	3,614		
3. そ の 他 の 資 産			
有 価 証 券	1,503,460	純 資 産 合 計	6,271,187
保 証 金	6,418	負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,519,703
保 険 積 立 金	361,432		
4. 繰 延 資 産			
繰 延 資 産	25,753		
資 産 合 計	6,519,703		

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、ついては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 湘山会

※医療法人整理番号 00159

所在地 愛知県名古屋市中区大曾根三丁目14番20号

損 益 計 算 書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		2,850,792
2 事業費用	2,323,701	
本来業務事業利益		527,091
事業利益		527,091
II 事業外収益		
家賃収入		3,069
雑収入		117,827
受取利息配当金		
貸倒引当金戻入		2,650
III 事業外費用		
寄付金	7,795	
支払利息	0	
経常利益		642,842
IV 特別利益		
有価証券売却益		1,538
固定資産売却益		
V 特別損失		
雑損失	20,997	
役員退職金	641,250	
有価証券売却損		
固定資産売却損	90,728	
税引前当期純利益		-108,594
法人税・住民税		66,061
及び事業税		
当期純利益		-174,656

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

法人名 医療法人 湘山会
所在地 愛知県名古屋市北区大曽根三丁目14番20号

※医療法人整理番号 00159

財 産 目 録
(令 和 4 年 3 月 3 1 日 現 在)

1. 資 産 額 6,519,703 千円
2. 負 債 額 248,516 千円
3. 純 資 産 額 6,271,187 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分	金 額	
A 流動資産		2,615,301
B 固定資産		3,904,401
C 資産合計 (A + B)		6,519,703
D 負債合計		248,516
E 純 資 産 (C - D)		6,271,187

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地	(<input checked="" type="checkbox"/> 法人所有	<input type="checkbox"/> 賃借	<input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input checked="" type="checkbox"/> 法人所有	<input type="checkbox"/> 賃借	<input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

00159

監査報告書

医療法人湘山会眼科三宅病院

理事長 三宅 豪一郎 殿

令和4年5月28日

医療法人湘山会眼科三宅病院

監事 富田偉津男

令和4年5月28日午後2時より午後4時まで、令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)に係る業務及び会計監査を行ったので、次のとおり報告いたします。

1、 監査の方法と概要

- (1) 業務監査については、医療法と照らし医師、看護婦の定員その他の規定事項に適合しているかどうか、理事会が有機的に機能しているかどうか、理事から業務報告を聴取し、関係書類を閲覧した他、賃金台帳等により人員の確認など、必要とおもわれる監査方法により、医療法に違反する事項の有無を含め業務執行の妥当性について監査した。
- (2) 会計監査については、税理士法人のぞみが作成した決算書類により、一部については証拠書類との照合など、必要と思われる監査手続により、計算書類の正当性について監査した。

2 監査意見

- (1) 業務執行については正しく行われており、収支状況及び財政状態については正しく表示されているものと認める。
- (2) 当期も税理士法人のぞみがおおむね病院会計準則にそって、貸借対照表・損益計算書等を作成している。今期は引き続きコロナ禍でも、売り上げは前期に比し約2.4%伸びている。経常利益は6億4千2百万円余を黒字計上し微増した。
- (3) 当期は創業者である三宅謙作氏が退職され、これに伴い医療法人と三宅謙作氏他一族との土地建物等の貸借関係を、売買により整理した。売買価格については第三者機関の評価額によっており低額・高額などの譲渡はなかった。
- (4) また退職金の支払いが発生したこと、及び不動産売買による損失などによって若干の損失となったが、一過性の営業外費用であり事業にいささかの影響を与えるものではない。財政状態は良好であり健全な経営が行われている。

以上のとおり監査結果を報告します。